

検査説明書：CT検査を受けられる患者さんへ

1. CT検査とは

- ・CTとはComputed Tomography（コンピュータ断層撮影）の略で、身体の周りからエックス線（放射線）をあてて通過したエックス線情報をコンピュータで解析し、連続した断層画像（輪切りの画像）を得る検査です。また、3D画像（立体的な画像）を作成することも可能です。

2. 検査の注意点

- ・腹部、骨盤部の検査をお受けになる方は、検査4時間前より絶食して下さい。
- ・水やお茶は少量であれば飲んでも構いません。（牛乳、ジュースは不可）
- ・膀胱の検査を受けられる方は、尿を貯めた状態でお越しください。
- ・妊娠または妊娠をしている可能性がある方は速やかに担当医にお伝えください。
- ・除細動器を埋め込まれている方は検査をお受けいただけない場合があります。

3. 検査の特徴

- ・単純検査の時間は10～20分程度かかります。造影検査の場合は30分程度かかります。身体の動きは画像に影響しますので、検査中は身体を動かさないようにご協力ください。
- ・装置の寝台に仰向けになって検査を行います。（検査部位によってうつ伏せ、横向きになることもあります。）
- ・胸部、腹部、骨盤部の検査では、息止めが必要になる場合があります。息止めが必要な時は声をかけますので、担当者の指示に従ってください。

4. 検査当日について

- ・次のものは撮影部位によって画像に影響を及ぼす可能性があるため、検査前に外していただきます。
金属類（メガネ、補聴器、入れ歯、ブラジャー、ピアスやネックレス等のアクセサリ、コルセットなど）、湿布薬、エレキバン、カイロ、その他担当者の指示するもの
- ・検査着に着替えていただく場合があります。
- ・来院受付を済ましたうえで、予約時間の10分前には放射線科受付にお越しください。なお、当院の診察券がない場合は受付に時間を要するため、余裕をもって来院ください。
- ・緊急を要する方の撮影を優先させていただく事があります。このため順番が前後する場合や予約時間を過ぎる場合があることをご了承ください。

医療放射線被ばく説明書

～CT 検査を受けられる方へ～

1. CT 検査の必要性

CT 検査では放射線による被ばくを伴います。そのため、検査の必要性が被ばくのリスクを上回ると判断された場合のみ検査を行います。病気の早期発見、早期治療のためにおこなうものです。検査の必要性や被ばくの心配、その他疑問点がある場合は担当医師にご相談ください。

2. 想定される被ばく線量とその影響

CT 検査で受ける放射線の量は検査部位によって異なりますが、5～30 ミリシーベルトです。医療被ばくによる有害な影響の発生リスクは非常に小さいと考えられています。ただし、胎児、子供は放射線の影響を受けやすいと言われています。

3. 当院で実施している医療被ばく低減に関する取り組み

当院では被ばく線量を定期的に見直し、被ばくの適正化に使用する指標を用いて最適化を行っています。放射線による被ばくが必要最小限になるように管理し、被ばく低減に努めています。